

第2 医療の状況

1 医療施設の種別施設数・病床数

令和4年3月31日現在

	病 院									
	総 数		精 神		感染症		療 養		一 般	
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
草 津 市	7	1,228	1	123	-	-	3	238	6	867
守 山 市	3	834	-	-	-	-	1	48	3	786
栗 東 市	1	393	-	-	1	6	-	-	1	387
野 洲 市	3	458	1	116	-	-	1	41	2	301
合 計	14	2,913	2	239	1	6	5	327	12	2,341

	一 般 診 療 所			歯 科 診 療 所		施 術 所		助産所
	施設数	有 床 施設数 (再掲)	病床数	施設数	病床数	あん摩 マッサージ はり・灸	柔道整復	施設数
草 津 市	137	6	88	64	-	90	61	7
守 山 市	69	1	2	32	-	67	43	4
栗 東 市	53	2	16	26	-	59	32	4
野 洲 市	43	1	19	18	-	41	20	3
合 計	302	10	125	140	-	257	156	18

2 医療関係従事者数

医療従事者調査状況

	医師		歯科医師		薬剤師		保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
	総数	(再掲) 医療施設 の従事者 数	総数	(再掲) 医療施設 の従事者 数	総数	(再掲) 医療施設 の従事者 数						
草津市	297	275	100	96	492	66	88	67	1,442	107	178	20
守山市	242	235	53	52	209	48	33	14	1,111	58	118	71
栗東市	179	176	39	39	180	33	27	26	702	43	56	14
野洲市	83	79	21	21	93	13	30	18	448	48	55	14
草津保健所	801	765	213	208	974	160	178	125	3,703	256	407	119

令和2年12月末日現在 「医師・歯科医師・薬剤師調査」による（隔年実施） ※(再掲)は、病院・診療所における従事者数です。
 令和2年12月末日現在 「保健師・助産師・看護師・准看護師、および歯科衛生士・歯科技工士業務従事者届」による（隔年実施）

3 管内医療機関(病院)名簿

名 称	郵便番号	所 在 地	経営主体	管理者	診 療 科 目	電話番号	F A X	使用許可病床数				
								精神	感染	一般	療養	総数
滋賀県立総合病院 (125020079)	524-0022	守山市守山5-4-30	県	一山 智	血液腫瘍内・糖尿病内分泌内・老年内・免疫内・脳神内・循内・消内・呼内・総合内・外・整外・脳外・呼外・心血外・泌・産婦・眼・耳鼻咽喉・皮・麻酔・放射線診断・放射線治療・緩和ケア・歯口外・リハ・病理診断・腎内・精神・乳腺外・形外・小・救急	582-5031	582-5426	-	-	535	-	535
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院 (125020095)	524-0022	守山市守山4-14-1	市	野々村 和男	内・呼内・循内・消内・糖内・腎内・神内・小・外・整外・皮・泌・脳外・眼・リハ・麻酔・放射線	582-5151	582-1461	-	-	151	48	199
社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 (125020109)	520-3046	栗東市大橋2-4-1	社会福祉 法人	三木 恒治	内・心内・脳神内・精神・呼内・消内・循内・腎内・血液内・小・外・整外・形成外・脳外・呼外・心血外・皮・泌・産婦・眼・耳鼻咽喉・リハ・放射線・麻酔・病理診断・救急・消化器外・肝臓内・膵臓内・糖尿病内分泌内・緩和ケア内・乳腺外・歯・美容皮膚	552-1221	553-8259	-	6	387	-	393
市立野洲病院 (125020125)	520-2331	野洲市小篠原1094	市	福山 秀直	内・呼内・消内・循内・神経内・小・外・整外・脳神外・眼・皮・泌・肛・産婦・リハ・放射線・麻酔・糖内・内分泌内	587-1332	587-5004	-	-	199	-	199
医療法人芙蓉会 南草津病院 (125020141)	525-0059	草津市野路5丁目2-39	医療法人	程原 佳子	内・消内・循内・外・整外・リハ・泌・神内・血内・糖内・脳外	562-0724	562-4153	-	-	42	95	137
滋賀県立小児保健医療センター (125020154)	524-0022	守山市守山5-7-30	県	二見 徹	小・精神・整外・小外・眼・耳・リハ・放射線・麻酔	582-6200	582-6304	-	-	100	-	100
社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津 (125020167)	525-0072	草津市笠山8-3-113	社会福祉 法人	口分田 政夫	小・神経内・内・リハ・歯・精神・整外	566-0701	566-0308	-	-	122	-	122
滋賀県立精神医療センター (125020170)	525-0072	草津市笠山8-4-25	県	大井 健	内・精神・心内・神経内	567-5001	567-5033	123	-	-	-	123
医療法人真心会 南草津野村病院 (125020183)	525-0059	草津市野路1-6-5	医療法人	秋山 稔	内・小・産婦・麻酔	561-3788	561-4689	-	-	28	-	28
医療法人周行会 湖南病院 (125020196)	520-2433	野洲市八夫2077	医療法人	木田 孝太郎	精神・心内	589-5155	589-5585	116	-	-	-	116
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 (125020213)	525-0054	草津市東矢倉3丁目34-52	医療法人	東上 震一	内・小・外・整外・リハ・脳神外・産婦・眼・耳鼻咽喉・皮・泌・放射線・循内・心血外・消外・神経内・麻酔・乳腺外・人工透析内・呼内・消内・救急	567-3610	567-3650	-	-	155	44	199
社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター野洲 (125020226)	520-2321	野洲市北桜978-2	社会福祉 法人	高野 知行	小・内・リハ・精神・整外	587-1144	587-4211	-	-	102	41	143
社会医療法人誠光会 淡海医療センター (125020239)	525-8585	草津市矢橋町1660	社会医療 法人	古家 大祐	内・脳神内・呼内・循内・消内・小・外・整外・脳神外・皮・耳鼻咽喉・眼・形外・泌・産婦・小外・麻酔・呼外・心血外・リハ・歯・歯口外・心内・糖内・内分泌内・内視鏡内・消外・乳腺外・頭頸部外・病理診断・臨床検査・放射線・放射線診断・放射線治療・救急・腎内・甲状腺外・膠原病内・血内・緩和ケア内・心内・精神	563-8866	565-9313	-	-	420	-	420
社会医療法人誠光会 淡海ふれあい病院 (125020242)	525-8585	草津市矢橋町1629-5	社会医療 法人	平野 正満	内・外・脳外	516-2121	516-2122	-	-	100	99	199

リハ:リハビリテーション科 リウ:リウマチ科 アレ:アレルギー科 心内:心療内科 糖内:糖尿病内科

※令和3年3月31日現在

4 地域医療構想(地域医療ビジョン)および圏域医療福祉ビジョンの推進

平成 26 年 6 月に成立した「医療介護総合確保推進法」の一部である改正医療法で、都道府県において地域医療構想の策定が義務付けられた。構想の目的は、①地域の医療需要(患者数)の将来推計等をデータに基づき明らかにすること、②構想区域ごとの各医療機能の必要見込量について検討すること、③地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を推進すること、④地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムを構築することである。こうした趣旨を踏まえ、医療・介護関係者、保険者、住民、市町との十分な連携を図り、平成 37 年(2025 年)を見据えて、滋賀県地域医療構想を策定した。

平成 28 年度から構想の実現に向け「地域医療構想調整会議」を設置し、平成 29 年度においては、圏域の現状や課題、圏域課題の解決に向け具体的検討を進めた。

平成 30 年度からは、湖南圏域における地域包括ケアシステム構築を推進するため、平成 30 年 3 月に中間評価をとりまとめた「南部地域医療福祉ビジョン」と地域医療構想(地域医療ビジョン)を一体的に推進するために会議を再編し、湖南圏域 2025 年医療福祉推進協議会において二つのビジョンの推進を協議することとした。

1. 湖南圏域 2025 年医療福祉推進協議会(地域医療構想調整会議)の開催

開催日 第 1 回 令和 3 年 9 月 24 日(金)

出席者 28 名

内 容 湖南圏域における病床機能分化・連携について

- ・地域医療構想の経過や現状について
 - ・令和 4 年度地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる事業提案について
 - ・草津総合病院より名称変更について報告
- 圏域の世代分野を超えた地域包括ケア推進について
- ・圏域の歯科の現状について
 - ・在宅歯科医療連携室事業について
- 滋賀県保健医療計画の中間見直しについて
- ・保健医療計画の中間見直し状況について
- 南部地域医療福祉ビジョンの推進について
- ・ビジョン「見える化」の推進について

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対応の優先実施、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の理由から、一回のみの開催とした。